



*海老名教会に繋がっている方々へ 共にお祈りを合わせましょう！

5月13日(水) 創世記2章4~9節 讚美歌21-533

「主なる神は、土（アダマ）の塵で人（アダム）を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。」（創世記2：7）

神様は最初の人アダムを造る前に、人間が住める環境を備えてくださいました。そして、神様は、土（アダマ）の塵で人（アダム）を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられました。人はこうして生きる者となったのです。他の生き物とは違って、人間には神様の命の息が吹き入れられました。それはある面、人間は神様の命の息がなければ、土の塵にすぎない存在であるということの意味します。神の命の息がなければ、死んだものなのです。

主なる神様は、そのアダムを、見るからに好ましく、食べるに良いものをもたらすあらゆる木を地に生えいさせ、命の木と善悪の知識の木が中央にあるエデンの園で暮らすよう導いてくださいました。神様はすべてを備えてくださる方、私たちが求める前に、何が必要であるかを知っておられる方です。

人間のために、神様は見るのも、食べるのにもよいもの、つまり最善のもの、最善のところを備えてくださいました。私たちはこの世において特別な存在、特に神様に特別に愛されていることを覚えていきたいと思えます。

<祈りの課題>

1. 世界の人々がコロナ・ウィルスという試練の中でへりくだった心をもって、真の神を知ることができますよう祈りましょう。
2. 早く正常的な生活ができ、共に礼拝を守ることができますように。その日まで、キリスト者一人一人の信仰がより強められますよう祈りましょう。
3. 国を導く政治家や指導者たちが、神を畏れ、人々を愛して知恵と力を出していくことができますよう祈りましょう。
4. コロナ・ウィルスの脅威の中でも人間らしさと、お互いの絆を失うことがないように祈りましょう。
5. 医学的に良い結果が出ますように、研究に励んでいる人々のために祈りましょう。そして、コロナ・ウィルスの患者のために治療を行い、看病や世話をする人とその家族のために祈りましょう。
6. 今、病に苦しんでいる人々、また、不安と孤独の中にいる人々、経済的に苦しみを覚えている人々のために祈りましょう。
7. 子どもや高齢者、障害を持っている人々が、社会の苦しい状況の中でも守られますよう祈りましょう。
8. 海老名教会に繋がっている一人一人が守られますように。一緒に礼拝を守るその日まで、心を合わせて祈り続けることができますよう励まし合い、祈りましょう。

